

日本財団補助金による


1996年度日中医学協力事業助成報告書

— 中国人研究者・医療技術者招聘助成 —

財団法人 日中医学協会

理事長 中 島 章 殿

1997 年 3 月 14 日

I. 招へい責任者 二階 宏昌  ④
所属機関 広島大学歯学部 職名 教授
所在地 広島市南区霞 1-2-3 電話 082-257-5631
招へい研究者氏名 盧 勇
所属機関 華西医科大学口腔医学院
職 名 助教授 (口腔病理教研室主任)

II. 日本滞在日程

1996年9月13日 広島空港に到着、同日より広島市に居住

広島大学歯学部外国人客員研究員として口

腔病理学教室において研究と研修に従事

1997年1月19日-22日 新潟大学歯学部口腔病理学教室を

訪問、共同研究の打ち合わせ

1997年2月4日 広島空港より帰国

Ⅲ. 研究報告

主として下記の共同研究を進めるとともに、教室の病理診断検討会ならびに研究セミナーに定期的に参加しながら、口腔病変に関する組織診断基準や免疫組織化学を中心とした実験研究手技の習得に努め、所期の目標を達成することができた。

「歯原性腫瘍に関する共同研究」

本研究は廬勇助教授の広島滞在を契機に開始されたが、同人は近々トロント大学（カナダ）にも留学を予定しており、3国3機関の共同研究として今後長期にわたり遂行することが合意に達している。

(1) 歯原性腫瘍の疫学的研究

華西医科大学の759症例をWHO国際分類に従って分類し、北米等におけるデータとの文献的比較のもとに、中国人における同腫瘍の発現頻度を統計学的に検討した。その結果、白人に比してエナメル上皮腫や悪性型の頻度が有意に高く、歯牙腫が少ないなどの特徴を明らかにできた（論文作成中）。なお日本人の歯原性腫瘍については現在疫学的調査を行っている。

(2) 歯原性腫瘍の免疫組織化学的ならびに分子病理学的研究

i) 石灰化歯原性嚢胞における腫瘍細胞のPCNA発現に基づき本腫瘍型の多様性を検討した結果、細胞増殖活性の面からみたその亜型分類の妥当性ならびにPCNA指数の悪性型識別への有用性を証明できた（第86回日本病理学会総会に発表、論文投稿中）。

ii) エナメル上皮線維肉腫の肉腫成分を解析した結果、その線維芽細胞への分化と高い増殖活性（エナメル上皮線維腫の間葉成分と比較）を確認できた（論文作成中）。

iii) 各種歯原性悪性腫瘍を対象に癌抑制遺伝子(p53)の異常発現を検討した結果、免疫組織化学的にはp53タンパクの過剰発現が、PCR-SSCP法ではその遺伝子レベルでの変異が証明され、同遺伝子が歯原性腫瘍においても悪性化に関与していることが示唆された。

Ⅳ. 助成金の使途内訳

助成金額 600,000 円

交通費 80,000 円 宿泊費 120,000 円 食費 280,000 円

雑費 120,000 円 他 _____ 円

抄録用紙

(本用紙以外の用紙を使用しないで下さい)

コード No. 002965

コード No. をご記入下さい。
(受領証ハガキに印刷してあります)

「演題名はここからプリントして下さい。」

増殖活性からみた石灰化歯原性嚢胞の多様性

盧 勇*, 高田 隆, 小川郁子, 宮内睦美, 工藤保誠, 伊東博司, 二階宏昌 (広島大・口腔病理, *華西医大・口腔病理)

石灰化歯原性嚢胞(COC)は多様な組織像を示し、その本態や亜型分類などに問題が残されている。本研究ではCOCにおけるPCNAの発現指数(PCNA-LI)を免疫組織学的に検索し、細胞増殖能の面からCOCの多様性と亜型分類について検討した。対象としたCOC25例中21例が良性型、4例が悪性型であった。前者をさらにHongら(1991)の分類に準じて解析した結果、いずれも嚢胞型に属し、非増殖型(NPT)4例、増殖型(PT)8例、歯牙腫随伴型(OAT)9例に亜分類された。PCNA-LIは悪性COCの65.2に対し良性型では13.4で明らかな有意差がみられた。良性型ではNPT(6.8)とPT(17.2)の間に有意差があったが、OAT(8.8)と他の2亜型の間にはなかった。OATのPCNA-LIは広範囲にわたっていたが、嚢胞部上皮に肥厚を伴うものではPTにおける値と近く、肥厚のないものとの間に有意差を示した。また、12例のCOC(NPT1, PT7, OAT4)で、上皮にエナメル上皮腫様の所見が観察され、このような変化のない症例より有意に高いPCNA-LIを示した。以上の結果より、①PCNA-LIは悪性型を鑑別する指標として有用である。②NPTとPTを亜型分類することは細胞増殖活性の面からも有意義である。③エナメル上皮腫様組織像と増殖活性の間に高い相関が示されたことから、これを亜型分類基準に加味する必要がある。④歯牙腫の有無と増殖活性とは直接関係がなく、OATは細胞増殖能の面からは亜型としての意義に乏しいことなどが示唆された。

別紙へ作成上の注意に従って作成して下さい。

記入後、A4判コピーを3部添付して下さい。

ワクからはみださないように、横幅いっぱいプリントして下さい。

分類群	A群	B群	C群
	10	⑤	1

演題分類表の中から希望発表
てはまる項目番号をご形式の番
記入下さい。さらにそ号をご記
入下さい。
中でも発表の主題と
なる項目に必ず〇をし
て下さい。

キーワード	石灰化歯原性嚢胞
	PCNA
	歯原性腫瘍